

半世紀ぶりに「指定野菜」が追加！ 人気のブロッコリー収穫最盛！！

令和6年12月10日

川崎市内でブロッコリーの収穫が本格化を迎えています。ブロッコリーは農林水産省が今年2月に2026年度から指定野菜に加えると発表し、市内でも多くの農家が生産に励んでいます。JAセレス川崎の大型農産物直売所「セレスモス」や生産者の直売所などで販売が始まり、消費者からも注目を集めています。このたび、生産者に協力を依頼し、収穫現場をご案内いただける機会を設けましたので、ぜひ取材いただき、市内産ブロッコリーを紹介いただければ幸いです。

指定野菜とは

指定野菜とは、消費量が多く国民の生活に欠かせない重要な野菜として国が位置づけ、安定供給を目指す品目です。1966年度にキャベツ、キュウリ、ダイコン、ハクサイ、トマト、タマネギの6品目が対象となり、その後品目は増加。現在は表の通り14品目となりました。新たに加わるブロッコリーは、約50年ぶりの指定。ビタミンCやβカロテンなど豊富な栄養素や電子レンジで加熱して食べられる利便性から、野菜全体の出荷量が減る中でもここ約10年で3割ほど増えています。

キャベツ	ネギ
キュウリ	ハクサイ
サトイモ	ピーマン
ダイコン	レタス
トマト	タマネギ
ナス	ジャガイモ
ニンジン	ハウレンソウ

三田 貴子さんについて

今回ご協力いただく三田貴さんは、10年ほど前に就農して夫や娘、母と約2畝の畑で季節の野菜や果樹を生産し、セレスモスで販売する農家。ブロッコリーの栽培は5年ほど前から始め、寒さで甘みが増す旬の冬に主力品目として生産に励んでいます。

三田さんは、土づくりには馬ふんや鶏ふんを活用。よく肥えた土壌で作物は元気よく育ち、減農薬栽培につなげています。三田さんの育てるブロッコリーはスーパーなどで見かける頂花蕾(ちょうからい)収穫後も株は草勢を失わず、次々伸びる脇芽である側花蕾(そくからい)も収穫してセレスモスに出荷。茎ブロッコリーのような側花蕾は調理もしやすく、人気品目となっています。



頂花蕾

【取材ご案内】

日 時：令和6年12月13日(金) 10時開始

取材先：三田 貴子さん(64)

集合場所：川崎市麻生区古沢301の畑

※お越しの際は、公共交通機関をご利用いただくか、近隣コインパークなどをご利用ください。



内 容：2時間ほどお時間をいただき、収穫の様子を撮影させていただき、栽培における工夫や苦労、やりがいなどの質問・取材にご協力いただきます。

当日は、JAセレス川崎 経営企画部広報課の職員も同行します。

【お問い合わせ・取材のご連絡について】

※取材をご希望される場合は、事前にJAセレス川崎広報課までご連絡願います。

◆お問い合わせ先

セレス川崎農業協同組合本店 経営企画部広報課 TEL 044-877-2964 担当：高松